

資料 2

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業) 案

令和 6年 1月 日

協議会名: 中央市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

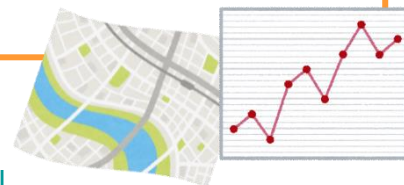
①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
山梨交通株式会社 「中央市役所本館～シルク ふれんどりい線」	「中央市役所本館～JR小井川 駅～山梨大学医学部附属病院 ～中央市役所玉穂支所～JR 東花輪駅～中央市役所豊富支 所～シルクふれんどりい」間を 運行	【事業評価結果(助言)】 アフターコロナ、ウィズコロナを 見据え、一時中断された利用 促進に関するイベント等の実施 (再開) 【反映状況】 感染症対策を継続実施し、利 用者への不安解消に努めた。 イベントにおける車両展示や乗 車体験などの啓発活動を再開 し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置付けら れたとおり、適切に実施さ れた。	B 目標値10,000人に対して約 85%の達成率となり、目標 達成に至らなかった。 【原因】 新型コロナウイルスなどの 影響によるバス利用者数の 変動や、生活様式の変化、 利用者の固定化等により結 果的には前年度と同等程 度の利用者数となった。 【効果】 利用実態から、高齢者を中 心とした自身で交通手段を 有さない交通弱者の日々の 通院・買い物等生活に密着 した移動手段となっている。 またJR身延線の東花輪 駅、小井川駅、幹線系統へ 接続する交通手段として機 能している。	令和5年度末に策定予定であ る市公共交通計画において、 地域間及び地域内交通の充実 を重要施策に位置付けており、 本事業についても市民ニーズ を意識した利便性の向上や、 本市にふさわしい事業の在り 方を検討していく。 イベントにおける啓発活動や、 転入者への時刻表配布、小中 学生のコンクール入賞作品の 車内掲示を行うなど、継続した 利用促進を図る。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	中央市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	本市は市街化が進んでいる地区と農村地区があり、両者は一級河川笛吹川で隔たれている。市内間を連携する公共交通が不在のため、連携を図るために事業実施を行っている。

https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/kakuhoiji/business-evaluation.html



事業評価.xlsx様式の記載事項

評価は、判定結果のみをもって一喜一憂すべき性質のものではなく、その結果を次年度以降の事業にどのように反映させ、改善に取り組むべきかという検討を行うことこそが重要です！



② 事業概要：

系統名、区間等を記載する。車両減価償却費等国庫補助金等の車両補助を受けている場合においては、その旨を記載する。

③ 前回の事業評価結果（又は類似事業）の反映状況：

当該事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように地域公共交通計画（別紙）に反映させた上で事業を実施したのかを記載する。

④ 事業実施の適切性：

地域公共交通計画（別紙）に基づく事業が適切に実施されたかを、A,B,C の3段階で評価する。計画どおり実施されなかった場合には、理由等を明らかにする。

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤ 目標・効果達成状況：

計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、設定した目標ごとにA,B,C の3段階で評価する。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上明らかにする。

A：事業が計画に位置付けられた目標を達成した

B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった

C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

⑥ 事業の今後の改善点（特記事項を含む）：

事業を継続して実施する場合は、必要に応じて、上記の検証結果を踏まえて具体的な改善策を検討する。

「事業実施の適切性」や「目標・効果達成状況」において、「B」「C」となった項目を中心に、そのようになった要因を分析し、事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載する。改善策は、事業者の取組だけでなく、地域の取組について広く検討する。特に、評価結果を計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を必ず記載すること。

また、「目標・効果達成状況」において評価の対象とならない事項を中心に、事業の実施に関して特記すべき事項がある場合には、その内容を簡潔に記載する。なお、当該年度で事業が終了（系統廃止等）した場合はその旨を記載する。